

# 日本初、エネルギーの地産地消都市

活力ある地方創生を目指した地域新電力の挑戦

みやまスマートエネルギー株式会社  
磯部 達



# 福岡県みやま市のご紹介



## みやま市の概要（2016年8月末現在）

■人口	38,678人	■世帯数	14,213戸
■高齢化率	34.4%		
■面積	105.12km <sup>2</sup>		
■日照時間	年間2,066時間（過去10年間の平均値）		
■太陽光発電施設設置普及率	8.9%		
			（全国5.6%）



# エネルギー地産地消のまちづくりへ

2013年7月

2014年3月

みやま市と市民（市内事業者）が  
共同で太陽光発電所を建設（5 MW）

全員協議会で説明し、電力会社設立の準備を開始



遊休地の有効活用

みやま市の方向性

基本構想

まちづくりの将来像

人・水・緑が光り輝き夢ふくらむまち

～自立と共生が未来へつづくまちづくり～

～第1次みやま市総合計画（平成20年9月策定）～

エネルギーに関する方向性

- ・太陽熱温水器、太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入を推進
- ・市民に対し、「環境家計簿」へのチャレンジを呼びかけ
- ・市民一人あたりの電気使用量（CO2排出量）数値の把握
- ・太陽光発電システム設置数500台（平成20年度292台）

※出所：「みやま市環境基本計画」における基本方針4、「地球に優しいまちづくり」平成31年度目標

©2014 EPCO Co., Ltd. ALL RIGHTS RESERVED.

自治体による電力自由化に向けた取り組み

みやま市は2016年の電力自由化に向けて、エネルギーによる新しいまちづくりに取り組みます

自治体	人口	世帯数
高橋市	49,096人	17,897世帯
八女市	68,271人	24,280世帯
計	75万人	147万世帯
みやま市	40,319人	14,134世帯
大牟田市	122,671人	57,526世帯
東川町	70,471人	24,900世帯

みやま市長 西原市長

Step① 電力データの利活用で市民目標の生活サービスを提供

Step② 自立的で持続可能な地域エネルギーシステムの構築

©2014 EPCO Co., Ltd. ALL RIGHTS RESERVED.

「地方創生」として、地方が自ら考え、地球に即した戦略のもと地方の責任においてまちづくりを行うことが求められている。地域資源を活かしたまちづくり、その中で特に市民に対しては、快適な暮らしによる生活の質の向上につなげられる取り組みの方向性について、議会と共有した。

# 産官学金労連携による統合的なリ・デザイン

## インフラの リ・デザイン

ビッグデータ活用  
分散型蓄電池のネットワーク技術  
再エネ融通

## コミュニケーションの リ・デザイン

### 先行技術開発

#### 環境保全



#### 電力+ICT



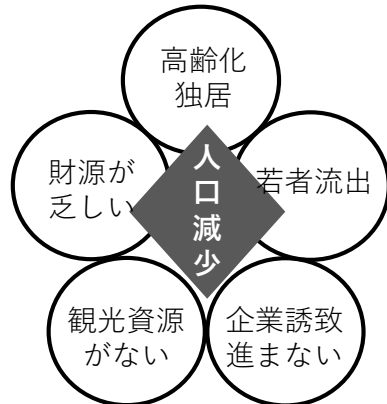
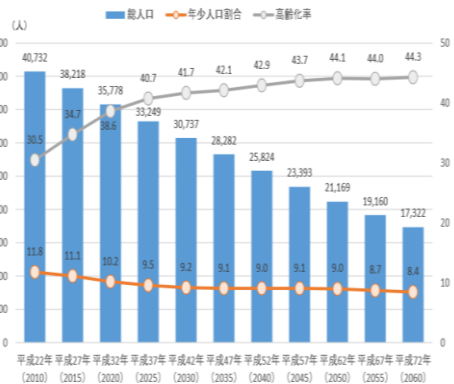
#### 地方創生

私企業や市民グループが中心になって推進する再エネ普及推進活動・自然環境調和活動は各地にあるが、ひとつの市が中心になって、市民と一体になって、地産地消の再生可能エネルギー活用インフラを整え、環境を保全しながら地域コミュニティと地域産業振興を進めている総合的な取り組みは国内に例がなく、先駆的な活動として全国の自治体や有識者、関連する企業およびメディア関係者から高い評価をいただいている。

# 地域課題解決のための取り組み

構造的な問題（人口の減少） → 地域イシュー → 一つの解決手段 → エネルギーを起点にした取り組みを開始

図 15 みやま市の人口推計（社人研推計）



気づき

「市民が地域で関わり合いを持てる場を設ける必要がある」  
市民の想像力で社会問題を解決することが出来る

活動を紹介、自発的、創発的、輪の広がりを目指す

## みやまスマートエネルギー(株)設立



◆高齢者を支える「見守り」などの生活支援サービス



楽しい・やりがいがある・心地よい  
人の集まりをデザインして、そこに新しい活動が生まれる

(外観)

(カフェテリア)



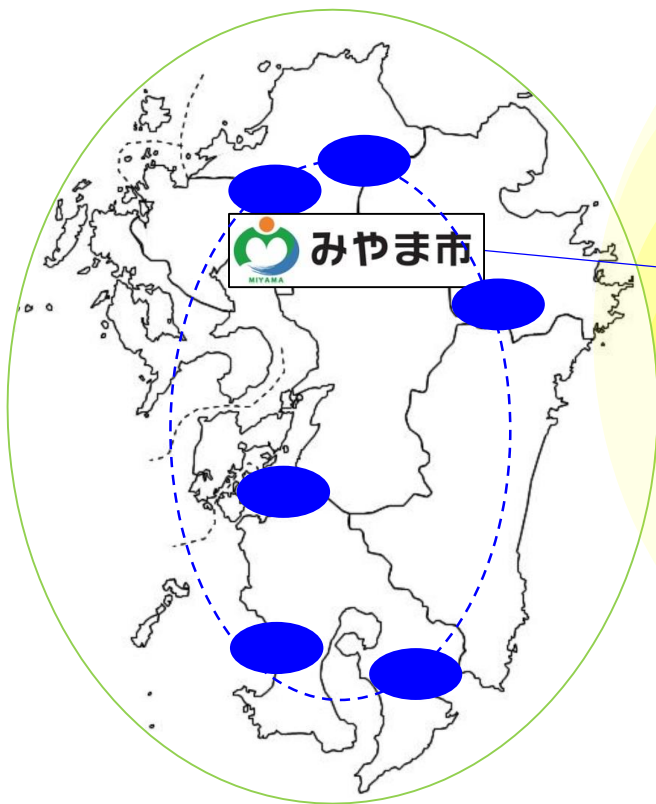
雇用を生む  
イノベーションを興す  
企業を呼ぶ  
人を呼ぶ  
コミュニティを生む

情報発信基地「さくらテラス」の開業。6次産業化の起点とする

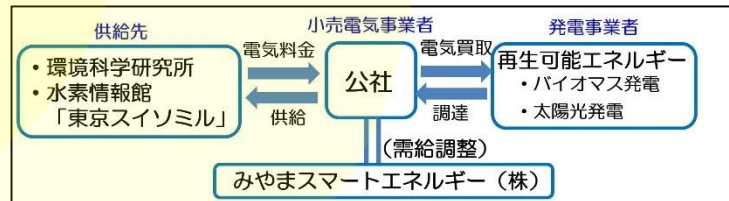
# みやま市から全国の自治体への展開

全国から150近い視察が続いている（ドイツの自治体とも交流し、学んでいる）  
今後も多くの自治体と連携して地域共通課題を解決していく

## 九州の自治体連携進行中



## 東京都とは再エネ融通を実行中



# 未来を担う子ども達からの活動提案

## 市内中学校からの提案で「みやまの新しいまちづくり」授業を開始 引き続き、小・中学校へ広めていく



### (生徒からの質問事項)

#### ゲストティーチャーによるHEMSについての授業

事前アンケートの集約をおこないました。  
よろしくご指導をお願いします。

#### ○HEMSについて

- ・HEMSがあると無いのでは、どのような利点があるのですか。
- ・HEMSを使うことによって、みやま市はどのような利点があるのですか。
- ・HEMSは今のどのくらいの家庭で利用されていますか。
- ・HEMSの実験プロジェクトをおこない、その結果をどのように利用するのですか。
- ・みやま市以外でHEMSを取り組んでいる所はあるのですか。
- ・どこの市が最初にHEMS事業をおこなったのですか。
- ・HEMSでどのような節約ができていますか。
- ・HEMSの欠点はありますか。
- ・HEMS設置にはどのくらいの値段がかかりますか。
- ・HEMS設置の条件は何ですか。
- ・どうしてみやま市はHEMS事業をおこなおうと考えたのですか。
- ・HEMSは誰でも簡単に使えますか。
- ・HEMSの見える化とは、主にどのようなことですか。
- ・HEMSを設置するのは、どこへ連絡すればよいのですか。
- ・みやま市ではHEMS設置家庭に対して、いろいろなサービスを用意しているのと聞いたことがありますが、サービスの内容は具体的にどのような内容ですか。
- ・将来的に一家に一台のHEMSをつけるのですか。
- ・HEMSを考えた人は誰ですか。
- ・国は2030年までにHEMSを全家庭に導入しようと考えていますが、その必要はあるのですか。
- ・日本全家庭がHEMSを設置したら、地球環境に影響がありますか。
- ・HEMSそのものの電気代や通信代はからなのですか。

#### ○HEMS以外の質問

- ・みやま市のエネルギー事情は、他の市町村と何が違うのですか。
- ・「電力の自由化」とは何ですか。
- ・みやま市の再生可能エネルギーの取り組みは何かありますか。
- ・エネルギーのことで、中学生の私達にできることは何ですか。
- ・HEMS以外で取り組もうとしているエネルギー政策はありますか。
- ・家庭内太陽光発電電力買取サービスとは何ですか。
- ・みやま市のエネルギー創作物は、具体的にどのようなことですか。
- ・「プラグインカーに最適化した電力利用」とは何ですか。
- ・HEMSで電気やガスの使っている量を見れば、水の量などは見れないのですか。



# 取り組みを継続化、発展させる みやま市が目指すスマートコミュニティ

## みやまスマートシティ

みやま市をスマートシティにリ・デザインする目的。  
それは地域コミュニティを強化し、市民との絆を常に進化させるため。



みやま市は、まちぐるみで市民のライフスタイル変革を促す新しい社会インフラ創りを目指しております。すでに、子供たちのこれからのために、未来につながるエネルギーの活用や最適化を探り、それをバックボーンに新たな市民サービスを提供し始めています。この活動を進めていく中で、次に目指すべき目標が見えてまいりました。それは、ICTを活用したエネルギーインフラを構築し、同時に市民とのコミュニケーションインターフェイスを作り上げること。そして、これらをベースに市民との絆を強くすることです。まち全体で取り組む産官民の融合プロセスこそが「みやまスマートシティ」のリ・デザインです。

